

青森中央学院大学卒業生（別科助産専攻）に関するアンケート集計結果【卒業生用】（令和6年8月発送分）

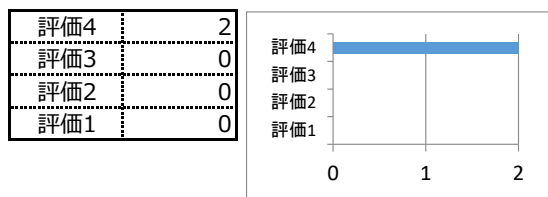
第6期生 女：5名 合計：5名
 回答数 2 回答率 40.0%

1. 本学卒業生について

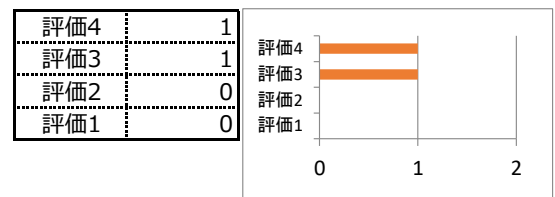
評価基準			
評価4	そう思う	評価3	ややそう思う
評価2	あまり思わない		
評価1	全く思わない		

【質問1】 現在の状況について（自己評価）

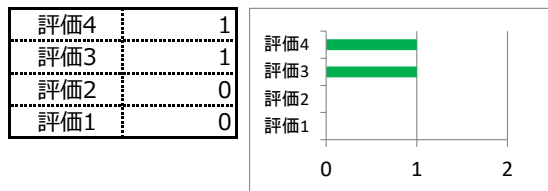
1) 母子および家族に対する理解を深め、対象者の人権を尊重・擁護する倫理観が身についている。



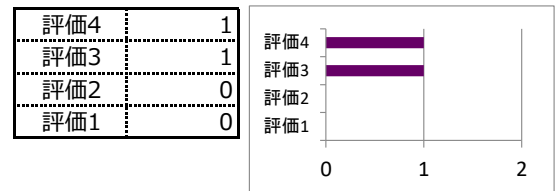
2) 将来にわたり看護の専門職者としての自覚を持ち、主体的に自己研鑽し続ける能力が身についている。



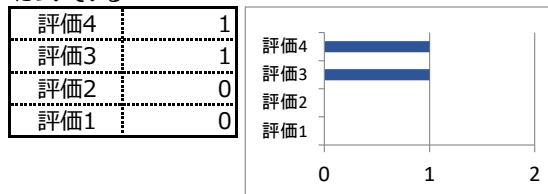
3) 助産学および助産学の基礎となる周産期医学等の理論、科学的判断等に関する専門的知識・技術を修得している。



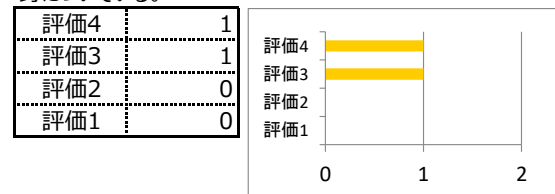
4) 母子および家族の助産に関する健康課題を分析し、対象者に応じた助産実践力を修得している。



5) 女性とその家族のライフサイクルにおける健康課題を分析し、そのライフサイクル各期に応じた健康支援ができる能力が身についている



6) 母子および家族の健康課題や母子保健を取り巻く課題を解決するために、保健医療福祉関係者と協働できる能力が身についている。



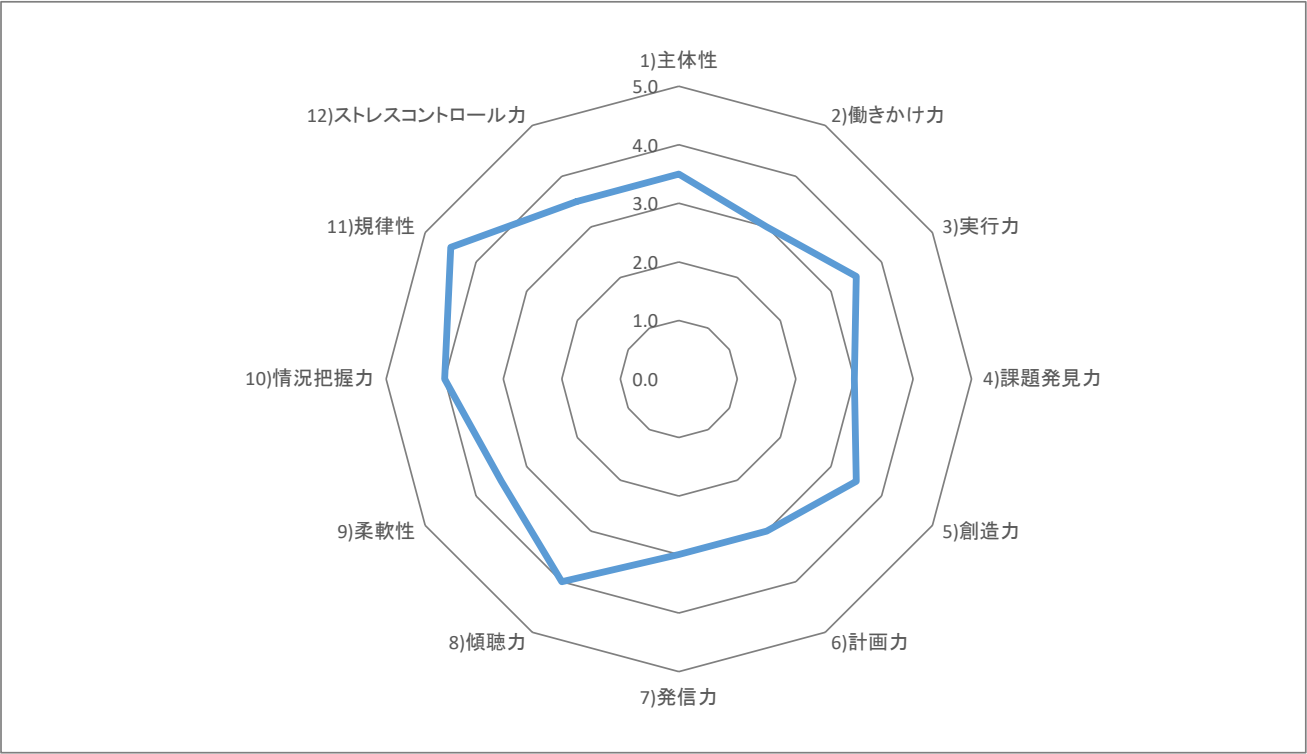
青森中央学院大学卒業生（別科助産専攻）に関するアンケート集計結果【卒業生用】（令和6年8月発送分）

【質問2】 社会人基礎力について(自己評価)

評価基準

評価5 優れている	評価4 やや優れている	評価3 標準的
評価2 やや劣る	評価1 劣る	

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	平均
1) 物事に進んで取り組む力・前に踏み出す力	0	1	1	0	0	3.5
2) 他人に働きかけ、巻き込む力・前に踏み出す力	0	0	2	0	0	3
3) 目的を設定し確実に行動する力・前に踏み出す力	0	1	1	0	0	3.5
4) 現状を分析し目的や課題を明らかにする力・考え抜く力	0	1	0	1	0	3
5) 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力・考え抜く力	0	1	1	0	0	3.5
6) 新しい価値を生み出す力・考え抜く力	0	0	2	0	0	3
7) 自分の意見をわかりやすく伝える力・チームで働く力	0	1	0	1	0	3
8) 相手の意見を丁寧に聴く力・チームで働く力	1	0	1	0	0	4
9) 意見の違いや立場の違いを理解する力・チームで働く力	0	1	1	0	0	3.5
10) 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力・チームで働く力	0	2	0	0	0	4
11) 社会のルールや人との約束する力・チームで働く力	1	1	0	0	0	4.5
12) ストレスの発生源に対応する力・チームで働く力	0	1	1	0	0	3.5



青森中央学院大学卒業生（別科助産専攻）に関するアンケート集計結果【卒業生用】（令和6年8月発送分）

【質問3-1】 在学中に学んで身についた、現在の看護に活かされていると思うこと

- ・ 性教育や就職説明会などで発表したり授業をしたりする機会が増えたため、パワーポイントの作成などを含めた発表準備などをして臨むことは在学中に身につけることができたおかげだと思います。
報告、連絡、相談という意識づけが業務の時間調整であったり、同僚の方とのコミュニケーションを円滑にすることにつながるし、患者さんや妊産婦さんとの関りにおいてもすこしでもいい方向に進めるような関わりにつながっているのではないかと思います。
- ・ 妊産婦の性格を捉えたコミュニケーション力、個別性のある保健指導力、基本的な分娩介助技術、妊産婦の全身状態からアセスメントする力。

【質問3-2】 在学中にもっと学んでおけばよかったと思うこと

- ・ コロナ禍であって難しいことではあったかもしれませんが、対象者だけでなくその家族も含めてのコミュニケーションの取り方とかは働いている今でも先輩方がどのように関わっているのか勉強中なので、学んだり、実際に関わる機会があったら違ったのではないかと思います。
- ・ 分娩進行をい促すケア、分娩介助をしながらリアルタイムで記録する力、アセスメントした内容を簡潔に伝える力、多胎児の授乳方法、胎児の疾患について。